



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和8年3月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyos.johas.go.jp>

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

・お1人様、月1回のみの受講となります。

・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は医師会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須となります。

・令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。単位シールの現物配付は禁止となります。

・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」が必要となりましたので、御登録をお願いします。

●認定産業医研修の申込受付開始は、すべて**2月2日(月)10時～**です。

研修日時	研修テーマ	講 師	単 位	定員
3月6日(金) 14:00～16:00	事例検討～復職支援の勘どころ～ うつ病や適応障害による休職者の復職支援、復職判定について、事例を踏まえ業務起因性精神疾患の考え方、休職者の心理、リワークを含めた休職中の支援の進め方を検討します。 また診断書や意見書など主治医との効果的な情報交換の方法もご紹介します。	(株)ジャパンEAPシステムズ取締役・顧問医 米沢 宏	生涯・ 実地2	50
3月10日(火) 14:00～16:00	過労死等の労災認定基準と認定状況について 労災保険制度は、仕事や通勤で怪我をしたり、病気になった場合等に必要な保険給付を行い、社会復帰を促し、被災者や遺族の援護を行うとともに、職場の安全や健康を確保するなどの役割を担っています。 仕事が原因の病気(業務上疾病)のうち、過労死等は増加していますので、労災認定基準や認定状況について理解を深め、過労死等の防止について考えてきましょう。	野村 みどり	生涯・ 専門2	55
3月11日(水) 14:00～16:00	リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの実際 (その1 講義編、その2 実習編) 事業場においてリスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムを運用する場合のポイントと留意事項を説明します。 リスクアセスメントとシステム監査については、簡単な事例で実習を行います。 ※単位の取得には「その1 講義編」、「その2 実習編」の両方の受講が必要です。どちらか一つだけの受講は認められません。	荒川 輝雄	生涯・専門 1 生涯・実地 1	50
3月13日(金) 14:00～16:00	産業医のためのアクティブラーニングを活用した健康教育の技術 産業医が行う教育の1つの特徴に「受講者は必ずしも学習意欲があるとは限らない」というものがあります。 その受講者に行動変容を求めるには、単に医学知識が旺盛なだけではなく、教育技術も期待されます。 本講では、教育設計学(Instructional Design)の知見を用い、ご自身が実際に行う研修の設計書を作成いただきます。 作成された設計書は、明日からの産業医活動にそのまま活かしていただけます。	産業医科大学産業医実務研修センター 副センター長 教育教授 柴田 喜幸	生涯・ 実地2	50
3月17日(火) 14:00～16:00	職場の熱中症対策 (その1 講義編、その2実習編) 2025年6月1日に労働安全衛生規則が改正となり、事業者の熱中症対策が義務化されました。この改正の背景と実際現場で行るべきポイントについて解説し、実際にWBGT指數計の使い方を実習します。 ※単位の取得には「その1 講義編」、「その2 実習編」の両方の受講が必要です。どちらか一つだけの受講は認められません。	小島原 典子	生涯・専門 1 生涯・実地 1	24
3月25日(水) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡回に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スマーケテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・ 実地3	16

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**2月2日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「**web研修会受講の注意事項及び受講手順**」を必ずご覧の上、
お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講 師	定員
3月16日(月) 14:00～16:00	【Web研修会】 レジリエンスについて 仕事上の挫折や生活上でのネガティブなライフイベントは、程度の差はあれ、すべての人に共通して起こり得る。 特に現代社会においては、以前よりも多種多様な困難や不測の事態がより身近に存在する現状がある。 ネガティブなライフイベントは避けることが出来ないが、ネガティブなライフイベントを経験してもそれを糧とし、しなやかに乗り越えていくことが必要となるのではないか。 EAPカウンセラーの経験から挫折・困難な状況からの回復力である「レジリエンス」について情報提供いたします。	レジリエ研究所 所長/(一社)国際EAP協会日本支部 理事長 市川 佳居	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講 師	定 員
3月3日(火) 14:00～16:00	衛生委員会の運営と産業保健 労働衛生(安全衛生)の現状と労働安全衛生法規を踏まえ、労働者の健康保持増進を進めていくためには、今、産業保健スタッフ、および、衛生(安全衛生)委員会は、何をどうすればいいのか。参加者の方々の職場の現状と講師の行政と民間会社における経験を交えて、参加者の方々の、今後の産業衛生活動の一助にでもなるような話にしたいと思います。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、動画視聴による「勤務間インターバル制度に係る研修」を行います。	秋元 成康	55
3月4日(水) 14:00～16:00	すすめよう職場のスマート禁煙！ 職場の禁煙化は、法律や条例、ガイドラインでも示された労働衛生上の重要課題の一つです。本研修会は、研究成果を基に作成した科学的根拠に基づく「効果的な職場の受動喫煙対策の推進方法」を提案しております。 令和14年度には、望まない受動喫煙のない社会の実現が国の目標です。 まずは、その推進方法を知ることからはじめてみませんか？ ◆注意◆ 本研修会は、禁煙化されていない事業場の関係者を対象とします。 参加型研修で、グループワークがあります。	斎藤 照代	45
3月5日(木) 14:00～16:00	元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動～対応事例～ 大手印刷会社で20年以上メンタルヘルス対策に携わった経験を基に、元気な職場づくりにつなげるメンタルヘルス活動の一例を紹介します。そして、メンタルヘルス活動に携わっている担当者にとってメンタル不調者の休職中の対応から復職支援について、対応事例によるグループワークから対応方法を共有していただきます。 また、ストレスによる腰痛、頭痛を予防する簡単にできる運動方法(骨ストレッチ)も紹介します。	中災防安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	55
3月12日(木) 14:00～16:00	「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～ 社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。 そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要なとなります。 個人情報のやりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。 本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。	(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹	55
3月18日(水) 14:00～16:00	病気や障害を持ちながらも、働き続けられる両立支援、ディーセント・ワークをめざそう！ 治療と仕事の両立支援の形は大小いろいろあるように思う。しかしながら当事者にとっては小さな軽いことでもうまく進まないことが生きづらさにつながることも…。事業場、組織の理解度のあり様、その姿勢が大事な支援、小規模であればあるほど、ちょっとした支援が大きな意味を持つことになる。努力義務となった両立支援、法制化されたいま活かしていく。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55